

科目名称(Course Title)				担当教員(Instructor)	
情報処理論 II				山田 篤	
開講学期 (Semester)	単位数 (Credits)	履修年次 (Requirement)	授業形態 (Class Type)	受講定員の有無 (Maximum Enrollment)	授業公開 (Workshop Class)
後学期	2 単位	1 年次	講義	無	不可
授業の概要(Course Description)					
<p>現代社会では、情報処理技術があらゆる場面で活用されている。この情報処理技術を使いこなすためには、コンピュータの構成と仕組みや情報処理技術がもたらした社会の変化について広く理解することが必要である。この講義では、一般教養として、情報技術と現代社会の関わりを学び、情報処理技術が企業・公共機関・医療・教育などの分野でどのように活用されているかを学習し、情報処理技術の基礎を習得する。</p> <p>情報処理論の講義は、I と II に分かれている。本講義は、主にコンピューターネットワークに関する情報処理技術を扱う。</p> <p>使用テキストは、科目「情報処理論 I」で使用するものと同じである。</p>					
授業の到達目標(Course Objectives)					
<p>大学生として必要な情報処理の知識を学び、その応用方法を理解することを目標としている。そのうえで、以下の3点を最終到達目標とする。</p> <p>(1) インターネットの仕組みを理解し、説明できる。</p> <p>(2) ネットワークサーバーの動作などの情報処理技術を理解し説明できる。</p> <p>(3) 上記2点が応用できる。</p>					
授業計画(Course Schedule)					
第 1 回	ガイダンス	講義の進め方と講義の概要説明			
第 2 回	インターネットとは	LAN・サーバ・クライアント		4.1	
第 3 回	データの伝送	パケット交換・回線交換		4.2	
第 4 回	通信理論の基礎	通信理論・情報量			プリント配布
第 5 回	TCP/IPモデル	IP (インターネットプロトコル)		4.2	
第 6 回	TCP/IPモデルとOSI参照モデル	OSI参照モデル		4.2	
第 7 回	サービスプロバイダ	ISP・ADSL・スループット・ブロードバンド		4.3	
第 8 回	家庭内LANの設定	イーサネット・DHCP・IPアドレス・DNS		4.4	
第 9 回	無線LAN	MACアドレス・ポート番号・WEP・WAP		4.5	
第 10 回	電子メールの運用	正しい電子メールの使い方・迷惑メール対策		5.1	
第 11 回	WWWのしくみ	クライアントサーバシステム・ブラウザ		5.2	
第 12 回	インターネット上のセキュリティ	セキュリティ		6.1	
第 13 回	セキュリティ対策	マルウェア		6.2, 6.3	
第 14 回	未来のネットワーク			7.1~7.11	
第 15 回	まとめ				
授業時間外学習(Supplementary Activities)					
<p>大学生として必要な情報処理の知識を学び、その応用方法を理解することを目標としている。そのうえで、以下の3点を最終到達目標とする。</p> <p>(1) インターネットの仕組みを理解し、説明できる。</p> <p>(2) ネットワークサーバーの動作などの情報処理技術を理解し説明できる。</p> <p>(3) 上記2点が応用できる。</p>					

成績評価の方法と基準(Grading)	
評価方法 (割合)	評価基準
期末試験 (80%) レポート・課題提出 (20%)	秀：講義で扱った情報処理の知識とその応用方法を論理的に説明でき、その知識を応用できる 優：講義で扱った情報処理の知識とその応用方法を論理的に説明できる 良：おおよその説明はできており、かつ、簡単な計算等はできる 可：簡単な計算等はできる
テキスト (Textbook)	【書名】 文系学生がまなぶ情報学 【著者】 大内 東 【出版社】 コロナ社 【出版年】 2012年
参考書・資料等 (Supplementary Reading)	講義中に参考文献を紹介する
備考 (Other Information)	
教員との連絡方法 (Contact With Instructor)	電子メールによる。 yamada-atsushi@fukuchiyama.ac.jp